Medical Technology News

臨床検査室新聞

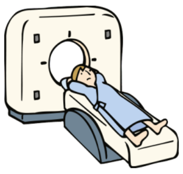
２０１４年　３月
第５１号
発行元　八雲総合病院
臨床検査室

破裂すると怖い腹部大動脈瘤

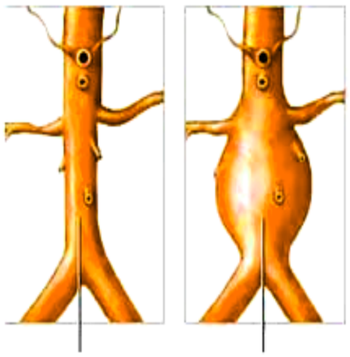
　大動脈は、心臓から出た血液を全身に送る重要な血管で、臍部あたりが腹部大動脈になります。

　腹部大動脈は通常直径２㎝以下の大きさですが、主に動脈硬化などが原因で大きくなり、３㎝以上で動脈瘤（紡錘状：血管全体が膨らんだ状態）となります。

　動脈瘤は、いったんできると元に戻らなく、年々大きくなっていきます。そして、大きさが５㎝以上になったり、急速に拡大する場合（紡錘状）や嚢状（血管の一部が膨らんだ状態）の動脈瘤などでは治療が必要となります。動脈瘤をそのまま放置すると破裂する可能性（瘤が大きいほど確率が高い）があり、破裂してしまうと死亡率が８０％以上になるといわれています。



　動脈瘤の自覚症状はほとんどなく、画像検査（ＣＴや超音波など）で偶然発見されることが多いです。動脈硬化などがあり腹部大動脈瘤が気になる場合は検査を受け、万が一、動脈瘤が見つかったら破裂の予防のためにも治療が大切になります。



正常な
腹部大動脈

腹部大動脈瘤
（紡錘状）

LOOK

尿潜血検査

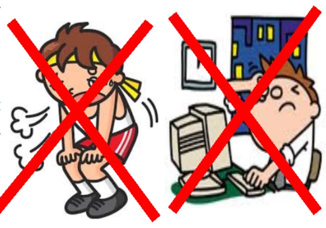
～検査上の注意点について～

　尿潜血検査は、赤血球の中にある「ヘモグロビン」という物質が尿中に存在するか（潜んでいるか）どうかを調べる検査です。

　尿中に赤血球が混じる要因としては、主に腎臓・尿管・膀胱の「腎・尿路系」と呼ばれる部位に炎症や損傷、腫瘍等があると、そこから出血し尿中に混入することで起こります。よって、尿潜血検査は、「腎・尿路系」疾患を見つける重要な検査といえます。

　ただ、尿潜血検査は健康な方でも陽性になることがあります。例えば、激しい運動後や過労、また、女性は生理中の時には陽性になることがあります。

　尿潜血検査を受ける時の注意点としては、検査を受ける前には激しい運動を避け、安静を保つことが重要です。女性の場合には、生理中や生理後2～3日は、経血により尿潜血が陽性となるため、できるだけこの期間は尿潜血検査を避けた方が良いと思われます。



チェック！　テーマ

リンゴ病（伝染性紅斑）

　「リンゴ病」は、正式名称を「伝染性紅斑」と言い、パルボウイルスＢ19というウイルスの感染症です。感染すると10日～20日の潜伏期間を経て発症し、頬や腕、おなか、足などに赤色の紅斑が現れたり、頭痛、関節痛、微熱、せき、鼻水などの風邪のような症状があります。重症化することはほとんどなく、たいていの場合は自然回復します。しかし妊婦さんが感染すると、胎児にも感染が及び、「胎児水腫」や流産の恐れがあります。

　厚生労働省がリンゴ病の流行年だった二〇一一年を対象に、全国の妊婦さんに対する、初めての大規模調査を行いました。この結果、感染胎児の７割が流産、死産しているという実態が明らかになりました。また、育児中に子供から感染するケースが多いことやパルボウイルスＢ19を知っている妊婦さんが少ないとの調査結果もわかりました。

２０１１年全国調査

　妊婦健診を実施する全国2.714施設に、妊娠中のウイルス感染について2011年を対象に調査した。

　回答のあった1990施設を分析した結果、母から胎児へのパルボウイルスB19感染を69人確認、うち35人が流産、14人が死産、3人が中絶で、残り17人が出産だった。妊婦の半数はリンゴ病の症状がなかった。

　リンゴ病は有効なワクチンや決め手となる治療法はなく、妊婦さんは人混みを避け、手洗いうがいの感染予防が重要となります。

検査－パルボウイルスＢ19ＩｇＭ（外注）

ほっと time

2/23に閉幕した冬季五輪ソチ大会。
17日間に渡る熱戦で、日本のメダルは
8個。メダルを手にした人も手が届かな
かった人も、たくさんの 涙と
笑顔、そして感動をありがとう!!

検査の基本

コリンエステラーゼ CHE

　血清中のコリンエステラーゼは主に肝細胞で合成されるので、その活性値は肝細胞機能、特に蛋白合成能を反映します。慢性肝炎や肝硬変では低下し、脂肪肝では逆に上昇します。また、有機リン中毒では著明に低下し、診断の有力な指標となります。

高値－脂肪肝、ネフローゼ症候群、甲状腺機能亢進症

低値－肝硬変、重症肝炎、有機リン中毒

基準値　214～491IU/1

編集後記

　先月、『病院のおしごとなりきりツアー２０１４』が、好評のうちに終了しました。子供たちのきらきらした真剣な眼差しは、検査室でも頼もしいと思いました。

　小、中学生の皆さん、次回開催の時には、ぜひ体験に来て下さいね。